

 市長 村上 浩司	愛知県 あま市 	●【データ】 令和7年3月1日現在 ・人 口:88,282人 ・世帯数:39,402世帯 ・面 積:27.49km² ・市の花:ゆり ・市の木:ハナミズキ ・特産物:尾張七宝、刷毛刷子、 方領大根、小松菜など ・担当:子ども健康部 健康推進課 ・電話:(052)443-0005
---	---	--

●あま市の紹介

あま市は濃尾平野南東部にあり、ほぼ全域が海拔ゼロメートル地帯となっています。広大な平坦地に河川・水路が広がり、田園風景など自然景観に恵まれています。

この地域の歴史は古く、市内からは弥生時代中期の遺跡も発掘されているほか、甚目寺観音（鳳凰山甚目寺）や漬物まつり（香の物祭り）で知られる萱津神社など古くからの社寺歴史的資源を多く有し、国・県・市指定文化財が合計 35 件あり、蜂須賀小六、福島正則など、戦国時代に活躍した武将を数多く輩出しています。

また、市の伝統産業である「尾張七宝」（七宝焼）は、国の伝統的工芸品に指定されています。



あま市役所新庁舎



あまじるし

●健康都市の取り組み

市のまちづくりの指針としまして、「ともに想い ともに創る ずっと大好きなまち“あま”」を将来像に、「地域の力を結集する共創のまちづくり」、「持続可能な魅力・活力あるまちづくり」、「次代につなぐまちづくり」を基本理念に次の 7 項目を基本方針として掲げています。

①安全で安心に暮らせるまち、②都市基盤と環境が整った快適なまち、③心身ともに健康に暮らせるまち、④次代を担う人を大切に育てるまち、⑤自らの力で歩み続ける活力あるまち、

⑥持続可能な行政経営を推進するまち、⑦交流と連携により成長するまち、を目指し各事業を展開しています。

【親子で遊ぼう！歯っぴい教室】

「赤ちゃん訪問」や「子育て相談」などの母子保健事業を行う中で、「赤ちゃんとの遊び方、あやし方がわからない」といった相談や、子どもとの関係構築につまずく親御さんが増えていることから、あま市では「こころの健康づくり」の取り組みを取り入れた「親子で遊ぼう！歯っぴい教室」を実施しています。

感情の発達や自己肯定感を育てるためには、親子関係が重要であるため、「ふれあい遊び」では絵本の読み聞かせ、わらべ歌、歌に合わせてお子さんの体に触れたり、手を握ったりする感覚遊び、親子ふれあい体操などを行っています。「保護者交流会」では、家でのお子さんの可愛いところや大変なところ、困っていることなどを自由に話してもらい、育児の不安や負担を抱え込まないよう、保護者間の交流を図りました。また、この交流会では、月齢の近いお子さんが集まっているため、共有・共感できることが多く、話が盛り上がり、教室終了後も親御さん同士でお話されていることがよくありました。

教室に参加された方からは「家の中での遊び方が分かった」「子どもが笑顔で私も楽しかった」「育児の悩みや不安なことを話せてよかった」などの感想をいただくことができました。

これからも、親子の関係構築に大切な生後8～11か月の時期に、子どもとゆとりをもってふれあい、親子で楽しい時間を過ごしてもらえるような教室を目指していきます。



【こころの健康コーナー 図書館展示】

あま市自殺対策計画に基づき、誰も自殺に追い込まれることのないあま市の実現を目指して、様々な啓発活動に取り組んでいます。

3月の自殺対策強化月間に合わせて、市内の美和図書館や七宝公民館読書室、甚目寺公民館図書室において、『「こころ」を大切にしよう』をテーマにこころの健康コーナーを設置しました。様々な年代の方にこころに関する図書を手に取っていただく機会となりました。

これからも、一人ひとりが「こころ」や「いのち」を大切に、心身ともに健やかでいきいきと笑顔で暮らせるまちづくりを推進していきます。



美和図書館